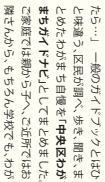
大阪市 中央区わがまちガイド ドナビ vol.3

# 西横堀川跡界隈をたずねて

## 商いのまち、大阪の源流へ

### 地域での、世代を超えた交流に！

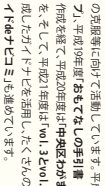
「区内には地元の人だけが知ってる魅力がたくさん。それらを伝えられたら…」一般のガイドブックとはひと味違う、区民が開く、歩き、聞き、まとめたわがまち目線を「中央区わがまちガイド ドナビ」としてまとめました。ご家庭では親から子へ、広所では隣さんから、もちろん学校でも、わがまちの魅力を口から口へと伝えて行くきっかけになれば と願っています。



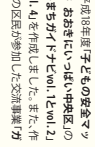
▲平成20年度発行のvol.1とvol.2

### 「中央区わがまちガイドナビ」誕生のヒミツ

「中央区未来わがまちフォーラム」は、区民自らがまちづくりに取組むために設立された団体で、平成19年度から、区の魅力向上や課題の克服等に向けて活動しています。平成18年度**「子どもの安全マップ」**、平成19年度**「おもてなしのまち引書 おおさかいっぱい中央区」**の作成を経て、平成20年度は**「中央区わがまちガイド ドナビvol.1と vol.2」**を、そして、平成21年度は**vol.3とvol.4**を作成しました。また、作成したガイドナビを活用し、たくさんの区民が参加した交流事業**「ガイドdeナビコミュ」**も進めています。



▲メンバーの意見をまとめてナビに



▲vol.1を活用した交流事業(敬老会)

※本文・写真・地図等の無断転載・複製を禁じます。

### ガイドナビ活用のお願い

「このガイドナビを持って、実際にまちを歩き、もっと中央区を知ってもらいたい」それが作成メンバーの願いです。「おもてなしのハート」で、親から子へ、孫に伝えていけるよう、自律的に活用してください。また、活用の機会や場、楽しいアイデアも募集します。区民のお話を私たち中央区未来わがまちフォーラムメンバーとヒーリ緒に広めていきましょう。


**発行・問合せ**

平成22年3月発行

発行：中央区未来わがまちフォーラム

中央区未来わがまちフォーラム地域委員会

大阪市中央区総合企画担当 06-6267-9832

編集：街角企画株式会社

1 信濃橋の石碑、冬になるとここに焼き芋屋が来ます



2 マンション入口にある陶器人形、「娘道成寺」

3 陶器神社の看板、火防陶器神社まで案内してくれます

4 慶応3年創業のつぼ善商店。珍しい陶器が並んでいます

5 堀が埋め立てられた時、地元の要望で残された参道です

6 かつてのせともの町がわかる看板

7 新町橋が鉄橋の時代の絵図があります

8 有名なヘンリー・ムーアの作品「二つに分断された人体」

9 芭蕉終焉の地

10 御堂筋沿いの御堂会館の奥にあるのが南御堂、難波別院

11 坐摩神社

11 茶碗供養後、再利用したタイルが境内の歩道に使われています

11 境内には陶器製の狛犬等、陶器の飾り物がたくさんあります

11 火防陶器神社の左右の灯籠は有田焼でできています

11 火防陶器神社の天井の大皿は圧巻！

12 「渡辺」番地表示、並んで見比べるとおもしろいですね

13 難波神社の御祭神は仁徳天皇です

13 難波神社には稲荷社文楽座跡の碑もあります

13 博労稲荷大神は「博労町のお稲荷さん」と地元から慕われています

13 難波神社の境内には、樹齢約400年のクスノキがあります

14 クリスタ長堀の看板に「横堀筋」の名前が残ってます

15 四つ橋交差点の中央分離帯に4つの橋が再現されています

## 西横堀川界隈の「今」と「昔」を比べてみたら…

地図や写真から、まちが大きく変わっているところ、変わっていないところがよくわかりますね

戦前 昭和12年

昭和12年頃の西横堀川東側。材木店が並んでいる様子がよくわかります

(下段3枚写真:(財)大阪都市工学情報センター 蔵)

戦後 昭和35年

昭和35年頃の西横堀川。当時、四つ橋交差点にあった電気科学館から北を見た写真です

高速道路開通 昭和41年

西横堀の区間は先行して開通しました。まだ環状になっておらず、この区間は今とは逆の南向き通行でした！

阪神高速道路の建設直後(昭和41年)。道路の下には、まだ残っている橋が見られます